

## [4] 島根県の発生事例

### 1 農場の概要

農場所在地：島根県大田市

飼養状況：採卵鶏約40万羽（山陰最大規模）

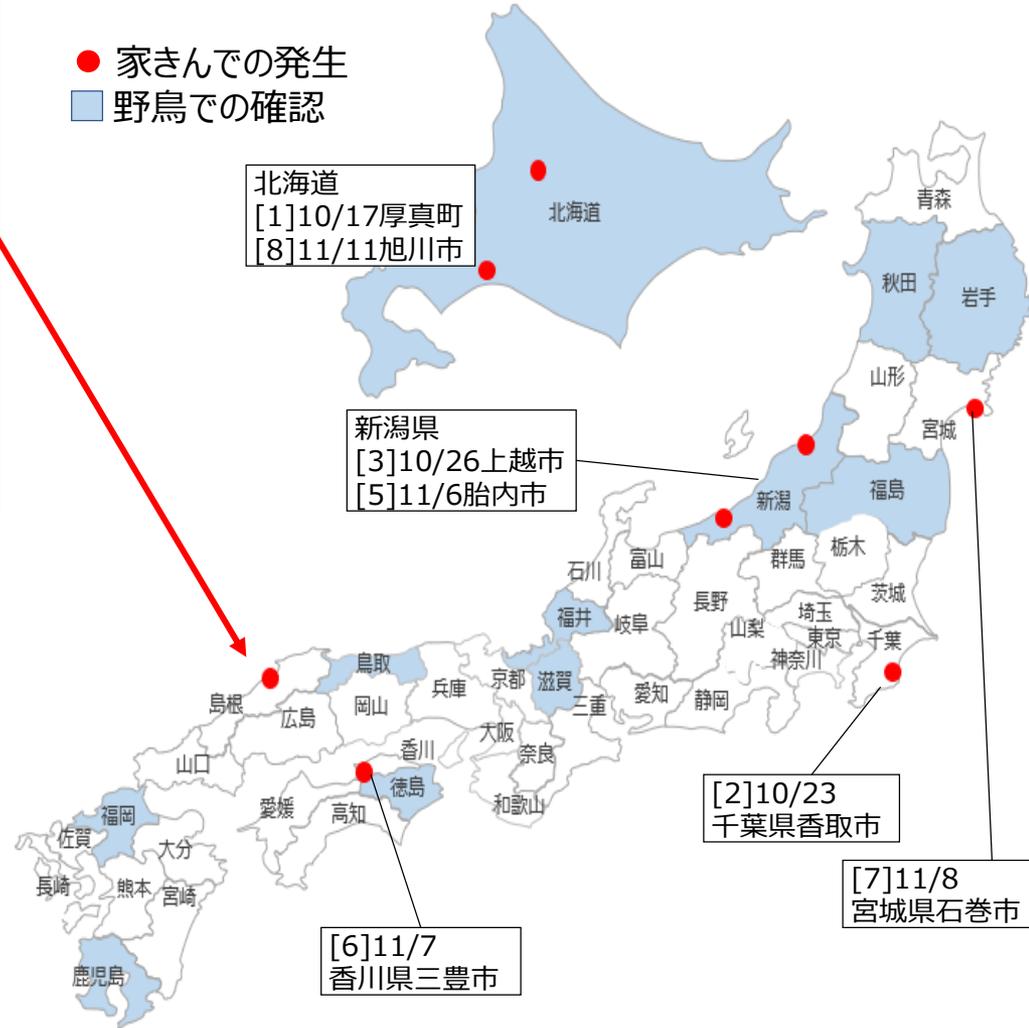
### 2 経過

- ・ 10/30 12:15 島根県へ通報  
15:00 簡易検査で5羽中5羽陽性  
18:00 協定に基づき中国地方各県に連絡
- ・ 10/31 2:00 遺伝子検査で陽性  
8:00 防疫作業に着手
- ・ 11/07 19:20 殺処分の完了
- ・ 11/09 17:00 埋却処分完了
- ・ 11/10 9:15 防疫措置完了

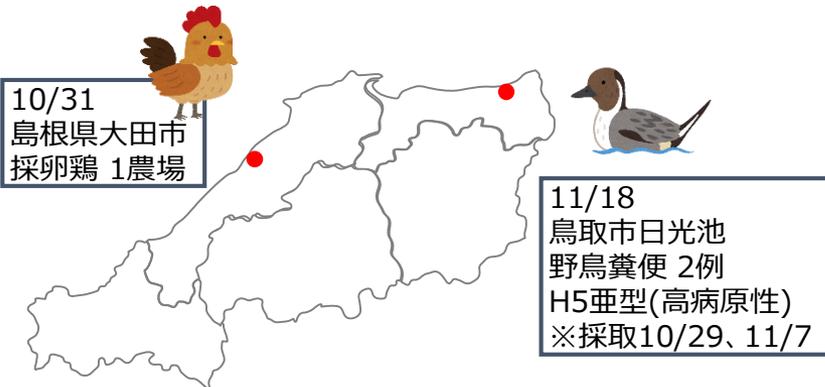
※島根県での発生は平成22年発生以来2回目

## 今シーズンの高病原性鳥インフルエンザ発生状況

- 家きんでの発生
- 野鳥での確認



## 今シーズンの中国地方における鳥インフルエンザウイルスの確認状況



国内の発生状況（11月18日9時現在）

家きん 1道5県 8例  
野鳥 1道9県 27例

# 中国地方4県による島根県発生事例への協力内容

今回の島根県における高病原性鳥インフルエンザの発生に対し、「中国地方5県における家畜防疫対策の広域連携に関する協定」に基づき、島根県が行う防疫措置に中国地方4県が人的及び物資提供の協力を行った。

## 【連携内容】

- ・ 簡易検査陽性の段階で中国5県で疑い事例の発生情報を共有

## 【協力内容】

- 発生農場の防疫作業のサブリーダーとして家畜防疫員(獣医師職員)7名を緊急派遣。大雨による日程延長に伴い3名を追加で派遣。
- 防疫措置を迅速に実施するため不足する資材を融通 (炭酸ガスボンベ170本、インナー手袋11,000枚、アウター手袋600枚、タイベック600枚、マスク1,000枚、ペーパータオル 3,000枚)



**中国5県が連携し、発生時には家畜防疫員の相互派遣や不足資材の相互融通により、迅速な防疫対策に努めていく。**

中国地方5県における家畜防疫対策の広域連携に関する協定 (H27.11.6締結)

### 連携項目

- ①連携情報の共有 (発生情報、疫学情報の共有等)
- ②連絡調整体制の確保 (中国5県各県の連絡窓口の設置)
- ③発生時の防疫資材の相互調達 (各県の備蓄資材の融通など)
- ④家畜防疫員等の派遣 (発生県への獣医師職員の派遣)